

平成27年度 子どもゆめ基金体験の風リレーションシップ事業
読書の夕べ

1. 事業の目的（趣旨・ねらい）

子どもたちに読書活動を推進することをおして、読書の楽しさや面白さを感じてもらい、進んで読書をしようとする態度を育くむ。また、子どもの体験活動や読書活動の振興を図るために、子どもゆめ基金の普及啓発を行う。

2. 事業の概要

(1) 期日

平成27年12月12日（土）～13日（日）1泊2日

(2) 参加者

① 募集対象・人数

幼児から小学校中学年までの子どもとその家族（子どもだけの参加は不可）
10家族（40人程度）

② 参加人数

11家族（39人）

(3) 講師等

絵本の読み聞かせの会 「おはなしや」
国立吉備青少年自然の家 研修指導員 前田 文男 氏

(4) 企画・運営のポイント

- ① 吉備中央町内の図書館司書の方や星空観察の講師と連携しながら、絵本と星空のつながりを意識した読書活動のプログラムを提供することができた。
- ② 多くの参加者を募るために、報道機関へ広報依頼し、新聞や雑誌に紹介してもらった。また、岡山市を中心に、近隣の市町の保育園、幼稚園や小学校、図書館や公民館等にもチラシ配付をした。

3. 活動の内容等

(1) 日程

12月12日（土）		12月13日（日）	
16:00	受付	6:45	起床・洗面
16:30	オリエンテーション	7:20	清掃
17:15	夕べのつどい	7:45	朝のつどい
17:30	夕食	8:00	朝食
18:30	読み聞かせ	9:00	片付け・退所
	星のかんさつ	9:30	ブックワールド参加
21:30	就寝		

(2) 活動の状況



【開会式】



【読み聞かせ】



【読み聞かせ】

4. 成果・課題

(1) 満足度

満足：90% やや満足：10%

(2) 参加者の声

- ① 天候のせいで星空観察ができなかったのは残念です。でも、お話と連携した取り組みは良いことだと思います。
- ② 星空観察が一番楽しみにしていたので、残念でした。次回は見えると良いですね。読み聞かせは、小学生でも楽しめた。

(3) 成果

- ① 地元の図書館に協力をお願いし、読書コーナーの充実を図った。また、地元の読み聞かせ団体「おはなしや」の読み聞かせの活動と天体観察講師による天体のお話とのつながりを意識したプログラム構成ができたのが良かった。
- ② 参加者を募るために、報道機関や新聞へ広報依頼をしたり岡山市を中心に近隣の市町の保育園、幼稚園や小学校、図書館や公民館等にもチラシ配布をしたりすることで集客効果があり、応募初日で定員いっぱいとなった。

(4) 今後の課題

天候に左右されないプログラム設定など、参加者の満足度を高める内容を引き続き企画していく必要がある。

また読書コーナーの本は、様々なニーズに対応できるように豊富な種類や新刊などできるだけそろえる必要がある。

担当：企画指導専門職 徳永 正樹